

# 合唱団おおやま

with オーケストラ・アンサンブル金沢

と き / 2004年**8月29日**(日)

13:30開場 14:00開演

ところ / 大山町民文化会館大ホール

主催 / 大山町・大山町教育委員会・合唱団おおやま

(財)石川県音楽文化振興事業団

共催 / 北日本新聞社 後援 / FMとやま

大山町の助成金により低料金で鑑賞できます。

CHORUS

OHYAMA

WITH

ORCHESTRA

ENSEMBLE

KANAZAWA

癒しの風をあなたに

# 1 ジョン・ラター「レクイエム」

John Rutter *Requiem*

- 1 レクイエム・エテルナム〈永遠の安息〉 —— *Requiem aeternam*
- 2 深き淵より (詩篇第130番) —— *Out of the deep*
- 3 ピエ・イエズ (慈悲深き主イエスよ) —— *Pie, Jesu*
- 4 サンクトゥス〈聖なるかな〉 —— *Sanctus*
- 5 アニウス・デイ〈神の子羊〉 —— *Agnus Dei*
- 6 主は我が羊飼ひ (詩篇第23番) —— *The Lord is my shepherd*
- 7 ルクス・エテルナ〈永遠の光〉 —— *Lux aeterna*

「レクイエム」とは、カトリック教会の「死者のためのミサ曲」のことで、通常ラテン語のミサ典礼文で構成されているが、このジョン・ラター(1945~)の「レクイエム」(1985)では、イギリス聖公会祈祷書の一部(英語)が使われており、純粋なミサ形式に依っていない。音楽も一部黒人霊歌風の曲があり、また平明で親しみやすいメロディーがちりばめられている。作曲の数年前に亡くなった父親のために書かれた曲であるが、自由な形式とあいまって全人類的な敬虔な祈りに満ちた曲である。

ソリスト 村上 育子(ソプラノ)

呉羽高校音楽コース卒業。国立音楽大学声楽科卒業。二期会オペラ研修所第46期マスタークラス修了。

第4回富山県青少年音楽コンクール声楽部門最優秀賞受賞。第9回富山県新人演奏会にて北日本新聞音楽奨励賞受賞。

国立音楽大学卒業演奏会、富山市役所市民ホールミニコンサートに出演。《メサイア》《合唱幻想曲》のソリストを務める。

1996年イタリア人ピアニスト、ジュゼッペ・スコテーゼ氏とデュオリサイタルを開催。2003年「北日本新聞音楽奨励賞受賞者によるジョイントリサイタル」に出演。オペラでは《月の世界》クラリーチェ、リゼッタ、《魔笛》パパゲーナ、《ジャンニスキッキ》ラウレッタ、《ねむの木は歌う》娘らん、《こうもり》アデーレ、ミュージカルでは《サウンド・オブ・ミュージック》マリアに出演。浅岡節夫・光代、久岡昇各氏に師事。二期会準会員。

*Akiko Murakami, Soprano*

# 2 ブリテン「シンプル・シンフォニー」

Benjamin Britten *Simple Symphony, Op.4*

- 第1楽章 「騒がしいブーレ」 —— *Boisterous Bourree*
- 第2楽章 「おどけたピチカート」 —— *Playful Pizzicato*
- 第3楽章 「感傷的なサラバンド」 —— *Sentimental Saraband*
- 第4楽章 「ふざけた終曲」 —— *Frolisome Finale*

休憩  
(15分間)

現代イギリス最大の作曲家ブリテンの21歳の作品(1934)。曲名と各楽章の標題のとおり、古典的でシンプルな中に、いかにもイギリス人らしいユーモアとウィットに富んだ曲である。

# 3 三善 晃 編曲「唱歌の四季」

- 1 朧月夜 (おぼろづきよ) —— 高野辰之詩・岡野貞一曲
- 2 茶摘 (ちゃつみ) —— 作詩・作曲者不詳
- 3 紅葉 (もみじ) —— 高野辰之詩・岡野貞一曲
- 4 雪 (ゆき) —— 作詩・作曲者不詳
- 5 夕焼小焼 (ゆうやけこやけ) —— 中村雨紅詩・草川信曲

この曲は、日本で唯一プロの合唱団である東京混声合唱団が、当代日本を代表する合唱曲の作曲家である三善晃(1933~)に委嘱してできあがった作品である。

という大変難しい曲と思われるだろうが、実は、東混の愛唱歌集と銘打ってあるとおり、大変「聴きやすく、親しみやすい曲」なのである。



CHORUS OHYAMA WITH ORCHESTRA ENSEMBLE KANAZAWA

指揮 山下 一史

1977年桐朋学園高校音楽科に入学。チェロを井上頼豊氏に、指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、(故)森正の各氏に師事。

1982年「第17回民音指揮コンクール」で奨励賞を受賞。

1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、1986年デンマークで開かれたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝する。

1985年12月からヘルベルト・フォン・カラヤンの亡くなるまで彼のアシスタントをつとめ、86年、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏会で、急遽、急病のカラヤンの代役として、ジーンズ姿のまま「第9」を指揮し、話題となった。その成功以来、ザルツブルク・フینگステン音楽祭でカラヤンのスタンバイ指揮者として契約、以後、デンマーク放送交響楽団、ライナス交響楽団、ソング・イルランド交響楽団などを指揮、着実にヨーロッパでの実績を重ね、1993年から1998年までヘルシンボリ交響楽団(スウェーデン)の首席客演指揮者をつとめた。1998、1999年と連続して、スウェーデンの名門、マルメ交響楽団の定期公演、1999

年3月にはオーケランド交響楽団(ニュージーランド)の定期公演に出演した。

日本国内では1988年「若い芽のコンサート」でNHK交響楽団を指揮してデビューを飾り、以後、国内の主要オーケストラに定期的に出演し、好評を得ている。NHK交響楽団の副指揮者(88年~95年)、オーケストラ・アンサンブル金沢のプリンシパル・ゲスト・コンダクター(91年~93年)、九州交響楽団の常任指揮者(96年~99年)をつとめた。現代作品の演奏にも定評があり、1996年日本音楽コンクール作曲部門の指揮において審査員特別賞を受賞した。大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウスでは2001年夏のモーツァルト《ドン・ジョヴァンニ》公演に続き、2002年夏のモーツァルト《魔笛》公演、2003年春のレオンカヴァッロ《道化師》、夏のモーツァルト《フィガロの結婚》、秋の松村慎三《沈黙》、2004年夏の《ドン・ジョヴァンニ》はそれぞれ高い評価を得ており、本格的なオペラプロジェクトへの意欲に満ちた取り組みに、ますます大きな注目を集めている。今秋大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウスで《ヴォツェック》に挑む。

2002年4月よりオペラハウス管弦楽団常任指揮者を務めている。(2004年7月現在)

*Yasumi Yamashita, Conductor*

Chorus Ohyama

# 合唱団おおやま

95年8月に大山町民を中心に結成。96年8月に第1回の「夏のメサイア」を公演。  
以来、毎年夏にオーケストラとの共演による公演を重ね、今回が9回目の公演である。  
オーケストラ・アンサンブル金沢とは7回目の共演。  
大山町民文化会館で、毎週水曜日夜、練習を行っている。

## ソプラノ

板 直子 / 岩竹 幸絵 / 岡本 紀子 / 加藤 一美 / 木村まゆみ  
熊倉 理子 / 瀬尾 智子 / 谷崎 千鶴 / 谷崎 千紗 / 谷本真理子  
千葉 多恵 / 中川 律子 / 松井千代美 / 宮原百合子

## アルト

麻島 利子 / 石動 和子 / 稲垣 聖子 / 井上 澄子 / 奥野 知子  
片山美富里 / 小泉 康子 / 高木 茂子 / 仲井 葉子 / 長原 啓子  
早水 淑子 / 平崎 康子

## テノール

内山 太一 / 佐々木 渉 / 谷崎 修一 / 東海 廉之

## バス

大磯 覚昌 / 窪田 英史 / 中村 諭 / 野入 豊光 / 松井 輝  
丸山 隆 / 宮元 美信 / 横川 厚雄

### 合唱指揮 内山 太一

武蔵野音楽大学声楽科卒業。ミュンヘン国立音楽大学卒業。  
シューベルトの三大歌曲集「冬の旅」「美しき水車小屋の娘」「白鳥の歌」等のドイツ歌曲のリサイタルを数多く開催。

藤原歌劇団公演のオペラや、「メサイア」、ベートーヴェン「第九」等、数多くのコンサートに出演。NHKFM等ラジオ、テレビにも出演。1993年再度1年間ドイツに留学。合唱団おおやま、入善混声合唱団、コスモホール少年少女合唱団「くびりど」、上市町子供の城児童合唱団、等の指導。元武蔵野音楽大学声楽科講師。元洗足学園魚津短期大学声楽科講師。富山福祉短期大学講師。大地の会主宰。

### コレペティトゥーア 板 直子

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。山崎道子、三津橋文子、森山ゆり子諸氏に師事。1993年より板直子&長崎裕子アンコール・ブリュピアノデュオコンサート(第1回~第4回)を開催。

1994年、第2回国際ピアノデュオコンクール(於東京)本選出場、入選。その他、むさしの会市民ホールコンサート、黒部名水の里第九コンサート等に出演。また、声楽や器楽の伴奏も行。現在、(株)開進堂楽器音楽教室ピアノ講師、国際ピアノデュオ協会会員、富山県ピアノ指導者協会会員、アンコール・ブリュ主宰。

Orchestra Ensemble Kanazawa

# オーケストラ・アンサンブル金沢

1988年音楽監督に岩城宏之氏を迎え、日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。  
世界中よりメンバーを公募し、多くの外国人を含む40名が在籍。設立時より、コンポーザー・イン・レジデンスを実施。  
金沢はもとより東京・大阪・名古屋、また海外でも定期的に公演を開催。数多くのCD制作など意欲的な活動を続け、国内外で注目されている。  
2001年本拠地石川県立音楽堂が開館、2002年大河ドラマ「利家とまつ」の音楽にもたずさわる。  
2003年よりワーナーミュージック・ジャパンとの提携によるCD「オーケストラ・アンサンブル金沢1000」を次々と発売している。  
2004年4月よりウィーン、ベルリンを含む  
8ヶ国12公演のヨーロッパ公演を行い成功をおさめた。

